

あたらしくはいった本 (令和2年9月 貸出開始資料から)

●小説 銀閣の人(門井慶喜/著) 彼女が天使でなくなる日(寺地はるな/著) fishy(金原ひとみ/著) 海の怪(鈴木光司/著) 心淋し川(西條奈加/著) 獣たちのコロシム(石田衣良/著) 灯台からの響き(宮本輝/著) 帰ってきたK2(横関大/著) 類(朝井まかて/著) もう、聞こえない(菅田哲也/著) 雪月花(北村薫/著) 初夏の訪問者(吉永南央/著) アウグストゥス(ジョン・ウィリアムズ/著) レイラの最後の10分38秒(エリフ・シャファク/著)

●随筆・詩などの文学 俳句いまむかし(坪内稔典/著) 本とあるく旅(森まゆみ/著) 幻想小説とは何か(三島由紀夫/著) てにをは俳句・短歌辞典(阿部正子/編) 私捨悟入(安野光雅/著)

●その他の本 ネット興亡記(杉本貴司/著) シニア六法(住田裕子/監修/著) ブラウスを縫おう。(かたやまゆうこ/著) 咲かせたい! 四季の宿根草で庭づくり(荻原範雄/著) 医者にがんと言われたら最初に読む本(中川恵一/著) 地球を支配する水の力(セアラ・ドライ/著)



『fishy』
金原ひとみ
朝日新聞出版



『銀閣の人』
門井慶喜
KADOKAWA



『彼女が天使でなくなる日』
寺地はるな
角川春樹事務所

- 「だざいふのとしょかん 令和元年度の報告」を発行しました。詳しくは、市民図書館ホームページをご覧ください。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来館の際はマスク着用などのご協力をお願いします。

みんなのとしょかん



市民図書館

TEL (921) 4646

FAX (921) 4896

<http://www.library.dazaifu.fukuoka.jp/>

としょかんカレンダー

令和2年	日	月	火	水	木	金	土
11	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30					

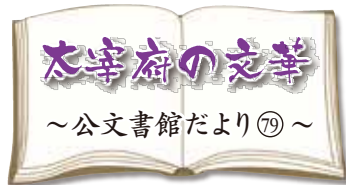
○のついた日は休館日

金・土曜日(祝日を除く)は午後7時まで開館しています。

明治期の伝染病対策——太宰府町の場合

戦前の町村役場が取り扱う行政事務の中にも、衛生に関する事務がありますが、主な業務は伝染病の予防対策でした。「太宰府市史 近現代資料編」は、太宰府町と水城村の事務報告書および財産明細表を収録しており、残存に偏りがありますが、太宰府町のものでは明治37年度からが載せられ、その頃の町の衛生事務を垣間見ることができます。

当時、伝染病予防に関する経費は、一部は県の補助がありました。が原則市町村の負担で、罹患者を収容する伝染病院(避病院)の設置や医師雇用の人件費などは、市町村で予算を組んでいました。明治38



～公文書館だより⑨～

た(事務報告)。

伝染病は他にコレラ、ジフテリア、疫痢など、数に多少はあってもほぼ例年なにかしら罹患者が出ており、伝染病院をはじめとする予防対策は、町行政の中でも重要な位置を占めていたと思われます。

明治38年度歳入歳出予算表では、衛

公文書館 藤田理子